

令和5年度主な事業報告

社会福祉法人 光台寺福祉会
理事長 立山康生

社会福祉事業

第2種社会福祉事業

- (1) 保育園の経営
- (2) 地域子育て支援拠点事業

- ・物品購入等

日々の保育活動に必要な軽微な消耗品に類する物品の購入
理事長専決事項により購入した物品（避難用お散歩車）

- ・特別保育事業

延長保育事業
障害児保育事業
子育て支援拠点事業

- ・自主保育事業

一時預かり保育事業

- 福祉教育活動及び地域の他機関との連携活動

- ・地域の学校行事への参加
- ・保育士養成校からの実習や、多良木中学校の職場体験の受け入れを行い、福祉人材の育成や関係機関との連携の構築に取り組んだ。
- ・コロナも落ち着き、地域のイベントが徐々に再開されるようになった。少しずつではあるが地域の方との連携の構築や、地域活性化への取り組みを継続していきたい。

- 令和5年度はコロナも収束してきたが、計画について規模の縮小や見直しを行いながら進めて行った。徐々に元の状態に戻れるように取り組んでいきたい。

令和5年度 光台寺保育園事業報告書

(1) 経営基本方針

- ア 保育士等の資質向上のための各種研修会への積極的な参加と学習
- イ 乳幼児や障害児・発達障害児の受け入れを積極的に推進
- ウ 地域社会との交流、老人施設訪問等
- エ 人権教育の推進
- オ 労働基準に沿った職員の適正な労働時間

(2) 保育運営

ア 保育目標 園児の生活面での自立・頑張る姿を育てるように努めた。

【元気な子ども】心身ともに健やかに育てる

【仲の良い子ども】思いやりの心を育てる

【ありがとうと言える子ども】感謝の心を育てる。

【考える子ども】よく考え、行動する。

イ 保育時間

午前7時～午後6時を基本とする（開園時間 7：00～19：00）

園児の保護者の勤務状況により延長保育を行った。

(3) 給食運営

- a 年齢に応じて必要な栄養を与え、心身の健全な発達を促すようにした。
- b アレルギーについては個別に対応した。誤食がないように気をつけた。
- c 調理員と保育士の協力により、食事の喜びや感謝の気持ちを育て、望ましい食生活習慣を身につけるように努めた。
年長児は当番活動を通して、野菜の下ごしらえ、クッキング等を経験した。
- d 家庭との連携を通して、地域の食生活の改善にも貢献するように努めた。

年間給食計画

球磨郡保育協会給食部会の献立に準じて実施した。

(4) 安全管理

子どもの安全に関しては、常に危機意識を持ち、園舎内外、遊具の安全点検を定期的に実施した。

(5) 保健衛生管理

入所児童及び職員の健康状態には常に注意を払い、日々健康チェックを行うほか、入所児童に嘱託小児科医師、歯科医師による定期健康診断を年2回実施した。給食にも特に注意を払い、伝染病や食中毒などの予防に心がけた。

(6) 地域との連携

- ・地域の子育て支援センターとして子育てについての相談や、育児指導を行った。
- ・散歩や園外保育等で、地域の方たちと挨拶を交わしたり、短い会話をしたりしながら、保育園のことを知ってもらうように努めた。
- ・地元新聞に子ども達の姿を取材し掲載してもらった。
- ・町内の他の保育園、小学校、中学校との交流を持つようにした。
- ・養成校の実習依頼については、支障のない限り受け入れるようにした。

(7) 人材の育成

- ◎ 保育の中で、経験のある職員は、積極的に後輩の指導を行うように努めた。
- ◎ 保護者会活動を通して、地域の人材の育成を図ることに努めた。

(8) 園舎環境の整備

- ア 園舎のワックス工事
- イ 保育室壁面のクロス張替え工事